

第5回 リーベルネットワーク研修会報告書

1. 開催日時：平成27年7月27日（月） 13:00～16:30

2. 開催場所：黒木支所 大会議室

3. 参加者（八女市教育委員会との共催）

行政関係、学校関係（小学校、中学校、高校、適応指導教室、特別支援学校）、福祉関係、リーベル

4. 実施内容

○講演：「一人一人が大切にされる共生社会の形成を目指して」

講師：福岡県立柳河特別支援学校 教諭 後藤 宏 氏

○講演内容 ⇒ グループワーク

①「障害とは何か？」・・・自分の障害観を振り返り、他者の価値観を知る。そしてお互いを理解し合う。（思いを伝え、知り、お互いの立場で考える。）

②個人レベル、組織レベル、地域レベルで考える。

③一人一人が大切にされる共生社会の形成を目指して



⇒自分の経験と重ね合わせ、相手の立場で考えることのできる優しさを持つ。違いを認め合い、共通する思いを発見（思いを共有）する。生活の視点や社会との接点を大事にしながら取り組む。

○アンケート

・共生教育とネットワークの必要性を改めて感じました。今後、学校で子どもを中心としたネットワーク作り、組織で支援する体制作りを具体的に作っていくことが大切ですね。

・学校関係でなく、他団体、組織の方とともに学習できるこの研修会はとても貴重なものだと思います。知り合うことで今後、具体的な事例で相談できる方が増え、連携が広がるのだと思います。

・障がいてなんだろうとか、色々な事例を考えるなど、本校の中ではあまり考えな



ったりしますが、実は全く関係がない事ではなく、身近な問題であるなど改めて考えさせられました。

・10年程前に比べると「障害」についての理解がかなり進んでいると思いました。以前は、診断名が大前提で、本人の症状や思いを尊重するような見方や考え方は少なかったように思います。今はいろんな立場の人が情報を共有しながら取り組んでいることをとても実感しました。これは誰もが安心して生きていける共生社会の実現に繋がっていると思います。こういう研修会でいろんな方と顔見知りになれることも大きな収穫です。

